

令和7年度 浦安市立南小学校 学校経営方針

浦安市教育ビジョンの基本理念

学び 育み 認め合い 『未来を創造する』人づくり

浦安市教育ビジョンの基本目標

自ら学び 自他を尊重する心と 新しい時代を切り拓き しなやかに生きる力を育みます

学校教育目標

自ら学び 自他を尊重して たくましく生きる児童の育成

経営理念：「明るい挨拶と笑顔、一生懸命さがあふれる学校」

目指す児童像

- 自ら学び、身に付けた知識や技能を活用する子 (主体的な学び)
- 自分や他人のよさを認め、互いに尊重し合う子 (自他を尊重する心)
- 命を大切にし、健康でたくましい子 (健やかな体)
- 人や社会に積極的にかかわる子 (豊かなかかわり)



目指す学校像

- ① 未来を創造し、力を合わせる学校
児童が夢や希望を抱き、生き生きと行動し、温かい人間関係のある学校
- ② 意欲と活気に満ちた学校
いつも笑顔と挨拶があり、児童と教職員の明るく元気な声が響く学校
- ③ 美しい環境の整備された学校
清掃や整理整頓が行き届き、花と緑にあふれ児童の活動の跡が見える学校
- ④ 社会に開かれた学校
堀江中学校区の特色と他校間交流を生かし、保護者や地域と連携した教育活動をする学校

目指す教師像

くつなぎ、つながる“チームみなみ”>

- ① 学校教育目標の実現に向け、職員間で連携して業務に当たり、児童、保護者、地域とのかかわりを大切にする教師
- ② 高い倫理観、教育愛、使命感をもち、研究と修養に努める教師
- ③ 専門的な知識・技能を活用し、わかる授業の展開に努める教師
- ④ 児童との信頼関係を築き、確かな児童理解に基づいた指導・支援を行う教師
- ⑤ 自らの役割を理解し、「学校力」・「チームみなみ」をキーワードに、積極的、組織的に活動する教師

1 教育課程編成にあたっての基本方針

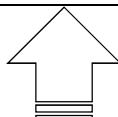
- (1) 諸法令や学習指導要領等の基準に従い、『生きる力』の育成を目指し編成する。
- (2) 学校教育目標を具現化することを目的として教育環境を整備する。
- (3) 児童や学校、地域の実態を十分に把握し、発達段階や児童の特性を十分考慮して編成する。
- (4) 学校教育活動全体を通して、児童一人一人を大切にした教育の推進を図る。
- (5) 学校地域連携運営協議会と共に、地域や人とのつながりを大切にした教育活動の推進を図る。

2 令和7年度の具体的な取り組み

～ 主体的な学び ～ ※

学習習慣の定着
☐ 学習規律・ルールの徹底を図る。 ☐ 相手の言うことを「聴いて理解する」意識を育てる。 ☐ 家庭学習の習慣化を図る。
指導方法の工夫・改善
☐ 習熟度別や少人数指導等、多様な学習形態による個に応じたきめ細やかな指導の充実を図る。 ☐ 一部教科担任制や交換授業の実施、中学校・こども園との連携を図った学習活動を取り入れる。 ☐ ICTを効果的に活用した「わかる授業」を展開する。
思考力・判断力・表現力の育成
☐ 児童が学習問題や課題に対して自分で考え、解決や調べる等の活動する時間を十分確保する。 ☐ 児童が自ら考えたことをわかりやすく文字や言葉で表現し、伝える方法を身につけさせる。 ☐ 児童が自ら考えたことを、絵・図・記号等も使って表現し、説明する機会や時間を確保する。

※校内研究と関連させる。



教員の指導力、授業力の向上の視点

学習過程を形成するための大切な要素	
○児童の実態の把握（レディネステスト等の活用） ○「導入」の工夫 ○学習問題とまとめ ○発問・指示 ○板書計画 ○発表の仕方 ○効果的な ICT 活用	○机間指導 ○児童が読み返すノート指導 ○思考・表現するための場作り ○資料の選び方と順番 ○個別学習とグループ学習 ○授業における理解度の確認 ○評価方法 ○活用する週間
教職員個々の資質・能力を高める	南小の『基本（みなみスタンダード）』
目標申告シートの「学習指導」との関連	『基本』とは、児童にとって、6年間を通して共通していたほうが学習効率の向上につながると思われること（もの） <学習に関するみなみスタンダード> ①チャイムと同時に授業を始め、終わらせる。 ②課題とまとめを黒板に書く。 ③学習中の姿勢を意識させる合言葉を作る。 ④授業が終わったら次の時間の準備をしてから席を立たせる。

～ 自他を尊重する心 ～

基本的生活習慣の定着（生徒指導の充実）

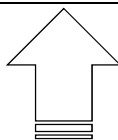
- 時間を守ることを大切にし、元気なあいさつや返事、安全な廊下歩行の定着を図る。
- 確かな児童理解やどの児童も安心していられる「居場所づくり」に努める。
- 「いじめ防止基本方針」に則り、予防と早期発見に取り組み、迅速かつ適切に、組織で対処する。

道徳教育の充実と道徳的実践力の向上

- 全体計画をもとにした道徳教育の充実を図り、道徳的心情を育て、道徳的判断力を養う。
- 道徳的価値についての見方や感じ方、考え方を深め、成長を実感できる授業展開を工夫する。
- 道徳的実践意欲をもたせ、道徳的実践をしようとする態度を身に付けつけさせる。

特別支援教育の推進

- 通常学級と特別支援学級との交流・共同学習の実践と充実を図る。
- インクルーシブ教育システムの理念に照らし、ユニバーサルデザインを意識した授業実践と教室環境構成を行う。
- 特別支援コーディネーターを中心とした校内委員会やケース会議の充実を図る。
- 必要な児童一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮を提供し、指導資料の蓄積や見直し、効果的な活用を図る。
- 特別支援教育の観点を生かした生徒指導を行う。全職員で情報を共有し、一致した対応をする。



自他を尊重する心を育むための大切な要素

- 児童の言動に「共感」する。
- 「自己存在感」をもたせる。
- 「自己決定」の場面を与える
- 自分自身のこと
- 他の人との関わりのこと

教職員個々の資質・能力を高める

南小の『基本（みなみスタンダード）』

目標申告シートの「生徒指導」との関連

『基本』とは、児童にとって6年間を通して共通していたほうが「自他を尊重する心」の充実につながると思われること（もの）

<生活に関するみなみスタンダード>

- ① 気持ちのよい元気なあいさつを励行する。
- ② 呼名されたら必ず「はい」と返事をする。
- ③ 靴のかかとを靴箱の端に揃える。

～ 健やかな体 ～

体力の向上をめざす

- ☐ 体育科を中心に教育活動全体で体力向上を行う。
- ☐ 最後まで意欲をもって取り組める体育的活動の充実を図る。
- ☐ 運動する楽しさや喜びが実感できる体育学習を推進する。
- ☐ フェアなプレイを大切にするなど、各種の運動を通してスポーツの意義や価値に触れさせる。
- ☐ 外遊びと朝運動を奨励する。

保健指導の充実

- ☐ 命を大切にする教育の充実を図る。
- ☐ 健康観察の充実を図る。(石鹸を使った手洗いうがいの励行とハンカチ、ティッシュの所持確認)
- ☐ 年間を通して感染症の拡大防止に努める。

食育への取り組みの充実

- ☐ 保護者との連携のもと、給食指導や講師による指導を通して、バランスよく栄養を摂ることへの指導の充実を図る。
- ☐ アレルギーについての理解と指導・対応を徹底する。
- ☐ 栄養士との連携を深め、食育の充実を図る。

安全教育の充実

- ☐ 計画的に防犯指導・安全指導を行う。特に交通安全指導は年間を通じ行う。
- ☐ 日々の生活の中で安全に対する気づきや思考を促し、実践力を養う。
- ☐ 防災教育の充実を図る。
- ☐ 自分の命を自分で守る意識を高め、行動を身に付けさせる。

～ 豊かなかかわり ～

人と関わる能力の育成

- ☐ 外部講師や学校支援ボランティアと連携し、「人とのつながりを大切にした教育活動」を推進し、人とのふれあいや楽しさ、満足感を感じられる教育活動を展開する。
- ☐ 日々の生活の中で、相手の話を理解し、自分の意思を伝える力を育成する。
- ☐ 異学年交流・学年内交流・他校園交流の充実を図る。

家庭・地域との連携

- ☐ 教職員が浦安の良さを理解し、児童に地域の歴史や文化、特に行事に十分ふれさせ、浦安の素晴らしさを感じさせる教育活動を展開する。
- ☐ 各種便りの発行やHPの更新等を通して、学校の情報を積極的に発信し、学校教育に対する理解を深める。

